



新鮮な空気を吸って体力づくり

毎年実施している「歩こう会」（主催 安平町体力づくり推進協議会）が今年も5月9日、追分地区の5か所で行われ、夫婦や家族など104名が参加しました。

天気には恵まれたものの肌寒い日となったこの日、準備体操で身体をほぐした参加者は各地区から出発。新鮮な空気を胸いっぱい吸い込み、まだ寂しい山肌や道端の緑に春を感じながらウォーキングを楽しみました。



田植えで勉強！

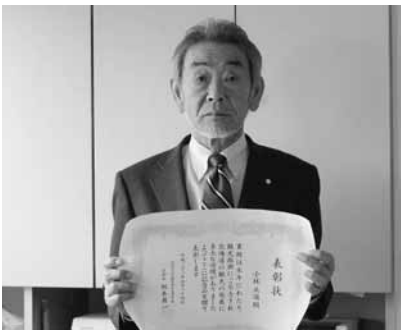
5月26日 遠浅小学校の課外事業「田植え」が実施されました。はじめた頃は校内に田んぼ？を作ってはじめての取り組みでしたが思うような収穫ができないのを見た保護者の協力を得て15年ほど前から本格的に田んぼではじめたそうです。「子供たちに収穫の喜びを体験させて苦勞も学ばせたい」と毎年田んぼの提供や技術指導をおこなう阿部修一さん（早来新栄）は「はじまりの頃はすべてを教えていたが、高学年が指導できる程に成長した。また卒業生が今でもやっているの？」と声をかけてくれる事もあり「子供たちに経験や記憶として残っている」と喜んでいました。秋には保護者といっしょに楽しいもちつき大会があり授業の成果が出ます。

観光事業功労者として表彰

安平町観光協会会長小林正道さんが、平成22年度社団法人日本観光協会北海道支部長表彰を受賞。

5月24日札幌市で開催された総会の中で伝達式が行われ、受賞者を代表し、「微力ではありませんが、地域における観光の振興を目指し今後も一層の努力を重ねていきたい」と謝辞を述べました。

小林さんは安平町の特徴を生かした観光事業を推進し、地域における観光振興の活性化、郷土芸能の普及などに尽力。ブラジル移民100周年記念事業では雪だるまプロジェクト出発セレモニーに積極的に関与し、功績が認められての受賞となりました。



町道の安全確保に役立てています

「町道の補修のために使ってほしい」と追分地区土砂生産協議会の理事長が5月27日追分庁舎を訪れました。同協議会からの寄付は旧追分町時代より行われ合併後も継続されており町はその恩恵を「町民が安全に通行できるよ



うに生活道路の補修」に利用しています。

臨時議会開催

5月号では町長・議会議員選挙結果などをお伝えしましたが、4月28日に臨時議会が開催され町が提案し決定された人事案件についてお知らせします。

副町長

幅田和夫氏・田上晴正氏

教育委員会委員

磯部正宏氏・五十嵐まゆみ氏

監査委員

三上直克氏・工藤隆男氏

固定資産評価委員

板倉孝一氏

町長から副町長2人制についての考え方が述べられましたのでその要点のみお知らせします。

・合併時における協議において機能分担方式を取り入れ現

在もその方式は変わっていないため機構改革を行わず実施すると、それに代る職員を配置しなければならぬ。
・住民アンケート等の意見（行政改革・経費削減・若手職員雇用への振替等）は理解しているが次のような理由により当分の間体制を堅持したい。

・合併して4年が経過しても解決しなければならぬ問題はまだまだ多く、町の経営管理体制の強化と副町長2人がそれぞれの役割と調整機能を発揮することでスムーズな行政運営が確立する。

※その他議会の内容については「議会だより」をご覧ください。